

光市医師会報

昭和55年11月発行

No. 99



マジック

亀田 仡先生

光市医師会

医 師 会 月 間 行 事

◎定例理事会

11月11日 (火) 午後7・30

光市医師会館

出席者 徳山市医師会 4名

下松市医師会 4名

光市医師会 6名

○協議事項

1. 56年度周南三市合同理事会の開催準備について

光市医師会担当

11月20日 午後7時 松屋にて

要望書作製や議題整理

2. 忘年会の計画

12月20日 (土)

担当理事 守友先生

3. 適配規則の改定に就いて (大野会長)

光市医師会開業相談委員会規則 (案)

及び同じく同委員会内規 (案) の説明及び検討

定款は来年度定時総会の予定

4. 心身医療学会 講師派遣の件 (福本副会長)

5. 定例会の講演派遣の件

血液成分の輸血について

山口県赤十字血液センター

○報告事項

1. 会長報告事項
2. 学校保健担当理事協議会 (福本副会長)
3. 体育大会、永年勤続者表彰式の収支報告 (守友理事)

◎周南三市医師会役員協議会

11月20日 (木) 午後7・00

松屋旅館

○議題

1. 昭和56年度の市に対する要望書の案と内容の討議

11月25日定例会席上で配布致しましたので省略、近年の要望と契約を後記します。

2. 徳山看護学院の現況について

3. 健康調査報告講演会

11月29日 (土)

14:00 ~ 16:30

会場 下松市立図書館ホール

演題と講師

「私のヘルスチェック」

岡山大学医学部教授 (衛生学)

青山英康博士

「健康調査報告」

岡山大学医学部名誉教授

大平昌彦博士

4. 産業医研修会

12月12日 徳山丸福ホテル

市に対する要望と契約

	54年度契約	55年度要望	55年度契約
〔学 校 医〕			
◎基 本 給	1校につき 年 110,000 (円)	130,000 (円)	110,000 (円)
健康管理手当	1人 130	220	150
◎健康相談料	1校につき(内科のみ) 52,800円(4,400×12)	年38,000円 ×1人当り110円	57,600円(4,800×12)
○出務手当(新設)			
職員健康診断	1人 1,000	1,000	1,000
就学児健診	1人 1,000	1,000	1,000
○同上最低額	15,000	17,000	16,000
兼務校基本給	82,500	兼務校廃止 130,000	兼務校廃止 110,000
〔保 育 所〕			
基 本 給	年 110,000	130,000	110,000
健康管理手当	1人 130	220	150
健康相談料	年 52,800円(4,400×12)	年38,000円 +1人当り110円	57,600円(4,800×12)
○出 務 手 当	2時間 15,000	1時間 15,000	2時間 16,000
看護婦出務手当	2時間 1,300	1時間 1,300	2時間 1,400
〔そ の 他〕			
◎予防接種出務料	2時間(1時間半) 15,000 (30分毎 7,500円)	1時間 15,000 (30分毎 7,500円)	2時間(1時間半) 16,000 (30分毎 8,000円)
◎1才6カ月健診	2時間(1時間半) 16,000	18,000	2時間(1時間半) 17,000
○休日在宅診療	1日 27,000	1日 30,000	1日 29,000
		12/29~1/3倍額	12/31~1/3倍額

◎11月例会並研修会

11月25日(火) 午後7・00

○救急医療研修会

映画 血液の有効利用

講演 血液の有効利用と成分輸血

講師 山口県赤十字血液センター

供給課長 金子 勝氏

供給係長 平尾 氏

○報告事項

1. 医療相談コーナーの発足に当って
武見会長の談話
2. 三市合同理事会報告
要望書の作製提出済(三市共同)
3. 忘年会 12月20日(土)

My Hobby

あとがき

河村 俊男

碁も打たないし将棋もだめ、絵もかけなければ音楽も不得手ときているので、無芸無趣味と評されても文句のつけようもない。

温故知新は孔子の言であるが、東洋格言的な先哲の数々の名訓に至大な影響を受けてきたためか、患家でこれらの書幅や額装品に対坐できる時ほど心のやすらぎを覚えることはない。

書の鑑賞は正に私の最高の道楽であり、書はかけもしないのに一人で楽しみ他の秀作を眺めて鑑賞眼の向上に努めている昨今である。

とりわけ草行二体と仮名変体に関心があるものの、臨書は嫌いなので余暇には座右の五体字類を繙き、たまには伝統ある×××の資料目録で目にとまった墨蹟を、他の愛好家に先を越されないうちに買いもつめるのも楽しみの一つである。

本邦では良寛や、犬養木堂、今津八一の墨蹟が後世にまで残るであろうといわれているので、いずれか一幅でもと機をうかがっているが、なかなか条件が揃わなくて残念である。

結婚式の受付でさえ、フデペンで書かされる昨今毛筆を使って書状をしたためたり、日常の生活で常に使っておられる方は、現在では極めて稀ではないでしょうか。

われわれ医師会の中でも、河村先生を除いては存じません。句論当然のことながら、非常に端正で流麗な字を書かれます。来年は誌上にのせられるようお願いしてみます。

亀田先生のマジックは、皆様御存知の通りキャリアといい技術といい団長としてピッタリの風格とショウを披露して、みんなを楽しませて下さいます。この写真は、虹の祭典の時市民ホールにおいて行なわれた時のもので、豆ファンがかぶりつきで見つめています。

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社